

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけてく ださい	【非該当】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																										
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	○		基本 (必須)	○		性別、年齢、国籍による差別のない採用、人事評価を実施し、誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。						●			●								●	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備し、ハラスメントがないことを確認している	○		基本 (必須)	○		就業規則にハラスメント禁止を明記し、定期的な社内周知を実施している。						●			●								●	
3		【ワーク・ライフ・バランス】 ・過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスを推進している	○		基本 (必須)	○		有給休暇取得の促進や業務効率により長時間労働を抑制し、働きやすい職場づくりを推進している。						●			●									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認するとともに、日本語教育の充実や地域住民との交流促進など、受入環境整備に取り組んでいる	○		基本 (必須)		○	現在、外国人労働者を雇用していない。今後雇用する場合は、作業手順、安全ルール、保護員の使用方法をわかりやすく説明し、差別や人権侵害のない受入体制を整備する。						●			●		●							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		毎日の安全ミーティング、保護員の着用徹底、墜落・転落災害防止対策を実施し、労働災害ゼロを目指している。						●			●									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		相談しやすい体制を整え、必要に応じて勤務調整や休暇取得を促している。						●												
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		年齢、性別、経験の有無にかかわらず、防水施工、現場管理、事務業務などで能力を発揮できるよう、適正に応じた配置と教育を行っている。						●			●		●							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	○		基本 (必須)	○		知識、施工手順、安全衛生、品質管理に関する社内教育を実施している。資格取得や技能講習の受講を支援し、職人の技術向上に取り組んでいる。						●	●		●	●								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	○		基本 (必須)	○		雇用形態にかかわらず、業務内容や責任に応じた適正な賃金・待遇となるよう確認している。						●			●		●							
10	環 境	【就業制度の改善】 ・子育てなど一人ひとりのライフスタイルに合わせた就業制度の導入、ワークライフバランスの実現に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		子育てや介護、通院等の事情に応じて、勤務時間や担当現場を調整するなど、従業員一人ひとりが継続して働きやすい就業環境づくりに取り組んでいる。	●			●		●		●		●							●	
11		【男性育休の取得推進】 ・男性の育児休業が取得しやすい職場環境づくりに努め、子育てと仕事の両立に積極的に取り組めるよう、有給休暇制度等を設けている	○		基本 (必須)	○		育児休業や有給休暇制度を社内周知し、男性従業員も育児に参加しやすいよう、現場工程や人員配置を調整する体制を整えている。						●			●		●							
12		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	○		チャレンジ (任意)			定期健康診断の受診を徹底し、夏場の熱中症対策として休憩時間の確保、飲料・塩分補給、空調服の活用を推進している。						●			●									
13		【生活困窮者の雇用・生活支援】 ・ひとり親、就職氷河期の非正規雇用者、失業者など生活困窮者の採用、生活環境改善の支援、職能・人材育成に積極的に取り組んでいる	○		チャレンジ (任意)			未経験者や就職に困難を抱える方も受け入れられるよう、基礎的な作業教育や資格取得支援を行い、安定した雇用につなげる体制づくりに検討している。	●	●		●		●			●		●	●					●	
14		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		分別し、産業廃棄物として適正に処理している。処理業者への委託やマニフェスト管理を徹底している。										●	●		●					
15		【エネルギーの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○		基本 (必須)	○		事務所や社用車、現場移動に使用する燃料・電力の使用状況を把握し、効率的な移動計画や省エネ運転に取り組んでいる。								●					●					
16		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、CO2の削減など排出の抑制に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		現場への移動ルートの効率化、資源のまとめ搬入、アイドリングストップ、LED照明の使用により、CO2排出量の削減に取り組んでいる。							●					●	●					
17		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		防水材、プライマー、シンナーの化学物質についてSDSを確認し、保管、使用、換気、保護員着用の徹底している。低臭・低VOC材料の採用にも努めている。						●			●			●	●					

(様式第3号)

企業・団体名（

有限会社大野シール

）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけてく ださい	【非取組】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																										
18	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本 （必須）			施工時に塗料や洗浄水、廃材が排水溝や周辺環境へに流出しないよう養生・回収を徹底し、地域の環境や生態系に悪影響を与えない施工を行っている。						●								●	●		
19		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	○			基本 （必須）			材料の適正発注により余剰材を削減し、再使用可能な工具・養生資材の活用、廃材の分別リサイクルに取り組んでいる。									●		●						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・自家消費型再生可能エネルギーの利用に取り組むとともに、省エネの促進に取り組んでいる	○		○	基本 （必須）			事務所での再生可能エネルギー由来電力の利用や、省エネ設備の導入を検討し、エネルギー使用量の削減に努める。						●				●							
21		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	○			チャレンジ （任意）			必要以上の使用を避ける。洗浄水や汚水が周辺へ流出しないよう、排水経路の確認と適切な処理を行っている。						●											
22		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	○			チャレンジ （任意）			ISO14001やエコアクション21等を参考に、廃棄物、エネルギー、化学物質管理に関する社内ルールを整備し、環境管理体制の構築を進める。				●		●				●	●	●					
23		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	○			チャレンジ （任意）			廃棄物の適正処理、省エネ、低環境負荷材料の使用などの環境配慮の取組を、会社案内やホームページ等で分かりやすく発信する。									●								
24	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の保全と持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	○		○	チャレンジ （任意）			必要量に応じた資材発注を行い、過剰在庫や廃棄を抑制している。環境負荷の少ない材料や長寿命化につながる防水工法の提案に努めている。						●		●		●	●	●	●				
25		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本 （必須）			取引先、管理会社、協力業者との取引において、贈収賄や不適切な利益供与を行わない方針を社内できちんとし、公正な取引を徹底している。															●		
26		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本 （必須）			見積り内容を明確に提示し、不当な価格操作や誤認を招く説明を行わない。品質、施工内容、保証内容に基づいた公正な営業活動を行っている。															●		
27		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる		○		基本 （必須）			施工写真、図面、見積資料、メーカー資料等を適切に管理し、他社の商標・写真・技術資料を無断使用しないよう徹底している。							●	●									
28		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本 （必須）			アパートオーナー、入居者、管理会社担当者氏名、住所、連絡先、施工写真等を適切に管理し、目的外利用や外部漏えいを防止している。															●		
29		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○	○	チャレンジ （任意）			防水工事を主業とし、紛争鉱物を直接取り扱う事業ではない。資材調達においては信頼できるメーカー・販売店から購入し、必要に応じて調達先への確認を行う。															●		
30	公 正 な 事 業 慣 行	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	○	○		チャレンジ （任意）			防水メーカー、資材販売店、足場業者、協力業者と、安全管理、法令遵守、廃棄物処理、ハラスメント防止等の方針を共有し、適切な施工体制を維持している。					●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	
31		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ■中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/		○		チャレンジ （任意）			協力業者や資材仕入れ先との適正な取引、価格交渉、支払い条件の明確化を進め、「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表を検討する。				●				●	●	●						●	

カテゴリー	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に〇をつけてください	【非該当】の場合、選入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
		環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
									1 人々の平和と公正	2 気候変動	3 良好な健康と福祉	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 水と衛生	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがい、経済成長、雇用	9 産業、基盤構造、イノベーション	10 人や国を超えて公正で包摂的な成長を	11 住み続けられるまちづくりを	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動に具体的な対策を	14 海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する	15 陸域生態系持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する	16 公正で包摂的な社会	17 パートナーシップで目標を達成しよう
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			○	基本（必須）			防水工事の施工前に現地調査を行い、劣化状況、漏水箇所、下地状態を確認している。居住者や近隣住民の安全に配慮し、立入禁止表示や養生を徹底している。			●						●								
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している			○	基本（必須）			施工手順書やメーカー仕様にに基づき、下地処理、膜厚、乾燥時間、端部処理等を確認している。施工写真を記録し、完了後の点検や保証を行っている。							●										
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	○		○	チャレンジ（任意）			低臭・低VOC材料や長寿命の防水材料を選定し、建物の長寿命化により資源消費や廃棄物発生抑制に貢献している。					●				●		●						
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		○	○	チャレンジ（任意）			アパートの雨漏り防止、建物劣化の抑制、資産価値の維持により、入居者が安心して暮らせる住環境づくりに貢献している。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している		○	○	基本（必須）			施工前に近隣住民や入居者へ作業日程、臭気、騒音、通行規制等を周知し、苦情や問い合わせに迅速に対応している。				●				●	●		●	●	●				
	【社会貢献活動】 ・寄付、地域活動への参加など持続的な社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		○	○	チャレンジ（任意）			地域清掃、防災活動、町内会活動等に参加し、地域に根ざした事業者として継続的な社会貢献に取り組む。				●				●			●		●				
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している		○	○	チャレンジ（任意）			地域の資材販売店、協力会社、職人を積極的に活用し、地域経済の活性化と迅速な施工対応に努めている。					●	●		●	●								
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有している		○		基本（必須）			经营理念や施工品質、安全第一の方針を社内共有し、朝礼や会議で目標、工程、安全注意事項を確認している。							●	●					●				
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している		○		基本（必須）			関連法令を確認し、許可・資格・届出・廃棄処理を行っている。													●				
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している		○		基本（必須）			安全管理、品質管理、環境管理、顧客対応の責任者を定め、現場ごとに役割分担を明確にしている。													●				
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		○		基本（必須）			アパートオーナー、管理会社、入居者、近隣住民、協力業者と施工前後に対話し、要望や懸念を把握して改善に反映している。												●	●				
	【DXの推進】 ・デジタル技術を積極的に活用し、職員等の業務効率化や生産性向上に積極的に取り組んでいる		○	○	基本（必須）			施工写真、工程表、見積書、請求書をデジタル管理し、現場報告や社内共有の効率化を進めている。スマートフォンやクラウドを活用し、業務の生産向上に取り組んでいる。			●			●	●										
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、職場安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している		○		チャレンジ（任意）			雨天、強風、熱中症、墜落、火気使用、化学物質、近隣苦情、漏水再発生等のリスクを現場ごとに洗い出し、事前対策と責任者を確認を行っている。												●					
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）			防水工事を通して建物の長寿命化、住環境の安全保障、廃棄物削減に貢献し、地域社会と環境に配慮した責任ある施工を行っている。													●				
	【事業継続】 ・過去の地震や水害などを教訓として事故や災害、さらにサイバー攻撃などの発生における事業継続計画を立案している		○		チャレンジ（任意）			台風、地震、大雨等の災害時にも顧客からの漏水相談に対応できるよう、緊急連絡体制、協力業者との連携、資材確保の体制を整えている。													●				
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		○		チャレンジ（任意）			施工技術、顧客対応、見積作成、安全管理等の業務を標準化し、若手職人や後継者への技術承継を進める。						●	●							●			

[illegible]

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件 2）

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組の「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、【予定】と補記してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、「チェック項目」に関する具体的な取組を記載してください。